

令和 6 年度

自己点検・自己評価報告書（学校関係者評価）

1 日 時 1 回 学校関係者評価委員 令和 6 年 5 月 3 0 日（木） 1 6 時 0 0 分
 2 回 学校関係者評価委員 令和 7 年 2 月 7 日（金） 1 6 時 0 0 分

2 会 場 静岡県東部総合美容専門学校 校長室

3 委 員 令和 6 年度学校関係者評価委員名簿

令和 6 年度学校関係者評価委員名簿

	委 員	氏 名	所 属
1	元公立高校校長	高田 道雄	
2	地域住民	鳥居 正浩	公立中学校支援地域本部コーディネーター 警備会社 勤務
3	地域住民	高橋 徹司	公立中学校コミュニティースクール長、 農業、三島市農業委員長、社会教育委員
4	卒業生	峯 知美	沼津市 辻写真館 勤務・美容師
5	保護者	櫻井 由美子	ネイリスト
	(本校職員)		
	校長	増田 一也	
	教頭	白石 美和子	

自己点検・評価表(2022モデル Ver. 2.1J簡略化版)

実施日：令和6年 12月4日 令和7年11月1日 不備があったので修正

学校名： 静岡県東部総合美容専門学校

1. 学校の教育目標

- I 経営の目的 「学生の幸福を追求し、挑戦する心を育てる」
II 建学の精神 確かな技術・創造の喜び・心のふれあい
III 教育目標 「豊かな教養、確かな技術、社会への貢献」

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

IV 重点目標

- ① 学校改善計画を作成し、改善の方向性を見える化し、校内で共有する
- ② 授業改善に取り組み、授業の質を向上する
- ③ 外部評価システムの考えを導入し、客観的な視点を取り入れた学校改革に取り組む

V 經營目標

- ① 80人の入学者を目指し、個々のニーズに寄り添った募集活動を展開する
- ② 100%の美容師国家試験合格のための方策を見出し、実施する
- ③ 100%の就職率(就職決定者／就職希望者)
- ④ 20%の大会入賞者

VI 生活目標

- ① 整理・整頓・清潔 ② 笑顔で挨拶、ありがとう

3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標				カテゴリ	適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1				自己 評価	重み等	対象	エビデンスと教職員自己評価	令和6年度 第三者評価	令和5年度 第三者評価	
1	1	中 項 目	理念・目的・育成人材像(教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか)												
1	1	1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス	適合	適合
1	1	2	学生・保証人(保護者)に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
1	1	3	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	B	④	3	2	1	3.7	4.0	0.8	4	エビデンス		適合
									3.4	全員	・「豊かな教養」を念頭に教育活動を行ったか。				
									3.3	全員	・「確かな技術」を念頭に教育活動を行ったか。				
									3.3	全員	・「社会への貢献」を念頭に教育活動を行ったか。				
									3.5	教員	・指導内容、指導方法の工夫改善を目指したか。				
									3.3	教員	・国家試験全員合格を目指し、工夫改善を行ったか。				
									3.6	全員	・生活目標「整理・整頓・清潔」の指導を積極的に勤めたか。				
									3.6	全員	・生活目標「笑顔・挨拶・感謝」の指導を積極的に勤めたか。				
1	1	4	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
1	2	中 項 目	教育の特色(社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか)												
1	2	1	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか(コース修了後に、学習者がそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか)	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス	適合	適合
1	2	2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか (学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか)	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス	適合	コメント
1	2	3	学校における職業教育の特色は明確になっているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス	コメント	適合

①	努力点と課題	努力点 教育理念を明文化し、関係者へ広く周知・公表している。業界ニーズに即した教育目標と職業教育の特色が明確であり、将来構想も具体的に描かれている。学生一人一人への声かけや、マナー教育の本質を重視する取り組みも評価できる。国家試験合格に向けた教職員の意識も高い。 課題 教育理念や生活目標を振り返る時間が不足している。学生の主体性を育む指導や、学生便覧・シラバスのさらなる活用が課題。指導方法の工夫と個別対応の質向上が今後の重要な取り組みである。
①	関係者評価委員の意見	特に問題は無いと感じられる。 HP、学生便覧等も工夫されていると感じられる。

2 学校運営				カテゴリー	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1				自己 評価	エビデンス				令和6年度 第三者評価	令和5年度 第三者評価
2	1	中 項 目	運営方針(運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか)												
2	1	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
2	1	2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその理解の状況を確認しているか	B	④	3	2	1	3.3	2.8 4.0	2.8 0.8	全員 4	・学校の運営方針を知っている エビデンス		適合
2	2	中 項 目	事業計画(事業計画を作成し、執行しているか)												
2	2	1	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	A	④	3	2	1	3.4	3.0 4.0	3.0 0.8	全員 4	・学校の事業計画を知っている エビデンス		適合
2	2	2	学校の年間スケジュールはあるか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
2	3	中 項 目	運営組織(運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか)												
2	3	1	寄附行為、理事会会議規則等(法人)、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会(法人)、学校の運営会議等が開催されているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0	4.0	4	エビデンス		適合
2	3	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	A	④	3	2	1	3.5	3.2 4.0	3.2 0.8	全員 4	校務分担表に基づき校務を行っている エビデンス		適合
2	3	3	組織機能図があるか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
2	3	4	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に開催されているか	B	④	3	2	1	3.9	3.8 4.0	3.8 1.0	全員 4	・職員会議・打合せで、必要事項が共有化される エビデンス		適合
2	3	21	出退勤管理簿があるか	A	④	3	2	1	3.9	3.8 4.0	3.8 1.2	全員 4	デスクネットのタイムカードを忘れずにチェックしているか。 エビデンス		適合
2	3	22	教職員の健康診断がされているか	A	④	3	2	1	3.9	3.8 4.0	3.8 0.8	全員 4	・健康診断の結果で再検査を受けたり治療をするなど活かそうとしている エビデンス		適合
2	3	41	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
2	4	中 項 目	教職員の評価・育成(教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか)												
2	4	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス	コメント	適合
2	4	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか、または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
2	4	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	④	3	2	1	3.7	3.3 4.0	3.5 3.0 1.2	教員 教員 4	検定への取り組みに力を入れている 授業アンケートを実施し、活用している エビデンス		適合
2	4	4	教員の組織体制を整備しているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
2	4	5	全ての教員(専任・兼任)に対して、当該学習分野又はスキル分野に関する必要なコンピデンスを有しているかを評価し、それらの評価結果を記録しているか	J	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス	コメント	コメント
2	4	6	教員・講師は、経験を有し、日本国内において認知されている教授資格を持っている、又は認知されている講師養成訓練を受けているか	J	④	3	2	1	3.8	3.5 4.0	3.5 1.2	全員 4	研修会に積極的に参加している エビデンス	コメント	適合
2	4	7	教員・講師に対して、ニーズ分析の結果に関する情報を十分に知らせているか(学生のニーズ、求人企業のニーズ等)	J	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス	コメント	適合
2	4	8	代講が必要な場合、適格な教員・講師が対応できるように手配し、当該教員・講師に授業の準備及び実施について指導しているか	J	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合

2	4	21	職員の能力開発のための研修等が行われているか	A	④	3	2	1	3.8	3.5 4.0	3.5 1.0	全員	新たな研修に取り組んだ	適合	コメント
2	4	22	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	A	④	3	2	1	3.7	3.3 4.0	3.3 1.0	教員	新しい技術等の情報を取り入れようと努力しているか	適合	コメント
2	4	23	教育の成果(学修結果)に基づく教員面接を実施しているか	B	4	③	2	1	2.9	2.9 3.0	2.9 0.8	教員	・管理職と検定やコンテストなどの教育成果について話をした	適合	適合
2	4	24	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	B	④	3	2	1	3.6	3.4 4.0	3.4 0.8	教員	実務や指導力向上のための研修に取り組んだ		適合
2	4	25	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、専門能力開発の計画を作成しているか(教職員研修計画の作成)	B	4	③	2	1	3.3	3.5 3.0	3.5 1.0	全員	研修計画に沿って、専門能力開発のための研修に参加した		適合
2	4	31	教員・講師に対して、学習指導のための教育訓練や教材の利用についての訓練を実施しているか	J	4	③	2	1	3.0	3.0		3	エビデンス		コメント
2	4	32	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	J	④	3	2	1	3.8	3.7 4.0	3.7 0.8	全員	防災訓練に参加した		適合
2	4	41	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス	コメント	適合
2	4	43	事務職員(学習サービスの提供に関わる教員・講師以外の職員)は、自らの職務をやり遂げるために必要なコンピテンス及び適格性を有しているか	J	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		コメント
2	5	中項目	人事・給与制度(人事・給与に関する制度を確立しているか)												
2	5	1	人事に関する制度を整備しているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
2	5	2	給与に関する制度を整備しているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
2	5	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	B	4	③	2	1	3.0	3.0		3	エビデンス		適合
2	5	4	採用制度は文書化されているか	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
2	6	中項目	情報システム(情報システム化等による業務の効率化が図られているか)												
2	6	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか(情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか)	A	④	3	2	1	3.6	3.3 4.0	3.3 0.8	全員 全員	・デスクネットを有効に使用し、仕事の効率化が図られた ・共有フォルダーや既存のファイル等を利用して業務の効率化を図ろうとしたか	適合	適合

②	努力点と課題	努力点 運営方針や規程が整備され、教職員への周知も適切に行われている。会議の定期開催や業務の情報共有も実施され、出退勤管理・健康診断・施設管理など、基本的な運営体制が確立している。教員の資質向上のための研修も積極的に行われており、学生指導に生かされている。業務効率化やICT活用への意識も高まっている。 課題 管理職に運営が偏りがちで、教職員全体で学校経営への意識共有が必要。研修情報の共有不足や、システム活用・確認作業の時間不足も課題である。教育訓練・教材活用の研修や専門能力開発計画の整備にも改善の余地がある。規程や計画への理解を深める仕組み作りも求められる。
②	関係者評価委員の意見	教員研修の部分で、評価③が見られた。 研修が必要なことは十分理解できるが、全員がそろって研修を受ける時間を生み出すことが難しいと感じられる。

3 教育活動				カテゴリ	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				自己評価	エビデンス				令和6年度 第三者評価	令和5年度 第三者評価	
3	1	中 項 目	目標の設定(教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか)													
3	1	1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針(カリキュラムポリシー)を明示し、また学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	A	④	3	2	1	3.6	2.9 4.0	2.9 1.2	全員 4	カリキュラムポリシーを意識している エビデンス		適合	
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	④	3	2	1	3.7	3.4 3.6 3.6 4.0	3.4 3.7 3.6 0.8	全員 教員 教員 4	・教育活動が、国家試験の合格率上昇とコンテスト等の入賞者増加につながったか。 ・教務日誌への記入を適切に行ったか。 ・授業時数の確保をしたか。自習時間がないような工夫がされたか。 エビデンス		コメント	
3	1	3	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合	
3	2	中 項 目	教育方法・評価等(各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか)													
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス	適合	適合	
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	A	④	3	2	1	3.4	2.5 4.0	2.5 1.2	教員 4	シラバスの内容を見直しながら作成した エビデンス		適合	
3	2	3	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	B	4	③	2	1	2.7	2.3 3.0	2.3 1.2	教員 3	コマシラバスを作成するか、作成の準備をした エビデンス		コメント	
3	2	4	シラバスあるいは講義要項(作成されていればコマシラバス)などが事前に学生に示され(あるいはホームページなどで公開されて)、授業で有効活用されているか	B	4	③	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合	
3	2	5	授業はシラバスに基づいて授業が展開されているか。また学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知を図っているか	C/J	④	3	2	1	3.3	2.8 4.0	2.8 0.8	教員 4	・シラバスに基づき授業を実施した エビデンス		コメント	
3	2	9	シラバス(作成されていればコマシラバス)には到達目標が記載されているか(Can-Doを意識した到達目標の明示)	J	④	3	2	1	3.6	3.1 4.0	3.1 1.2	教員 4	コマシラバスについて、更に学びたい エビデンス		コメント	
3	2	10	学習サービスの設計時に、予定しているモニタリング及び評価の手順を明確にしているか	J	④	3	2	1	4.0	3.9 4.0	3.9 1.2	教員 4	適切な評価となるよう心がけたか エビデンス		コメント	
3	2	11	実技・実習が講義と連動していたり、講師と学習者の比率をカリキュラム設計時に考慮するなど、効果的学習に配慮されているか	J	④	3	2	1	3.76	3.4 4.0	3.4 1.2	教員 4	・美容技術理論と実習の連携を図った エビデンス		コメント	
3	2	21	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか(教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か)	A	4	③	2	1	3.0	3.1 3.0	3.1 1.2	教員 3	・学生の授業アンケートの結果を活かそうとしているか エビデンス		オブザーベーション	
3	2	22	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	B	4	③	2	1	3.0	3.0		3	エビデンス		コメント	
3	2	23	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか(学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか)	B	④	3	2	1	3.5	2.8 4.0	2.8 1.2	教員 4	学生アンケートの結果を活用したか エビデンス		コメント	
3	2	24	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	B	④	3	2	1	3.2	2.7 4.0	2.7 0.8	教員 4	面談の結果を活かそうとしたか エビデンス		コメント	
3	2	25	質保証を目的とした授業の評価にあたり、アセスメント結果(学修成果)のレビューを取り入れているか(アセスメント結果を、当初の目標と比較して評価しているか)	J	④	3	2	1	3.7	3.3 4.0	3.3 1.2	教員 4	検定結果やコンテスト結果など学修成果の結果を活かそうとしたか エビデンス		コメント	
3	2	26	カリキュラムを設計又は見直す際に、過去に提供した類似の学習サービスに関する評価の結果を考慮しているか	J	4	③	2	1	3.0	3.0		3	エビデンス		適合	
3	2	41	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか(カリキュラム作成委員会等)	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合	
3	2	42	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス	適合	コメント	
3	2	43	カリキュラム設計及び開発の経験を有している、もしくは訓練を受けたファシリテーターなどが、カリキュラムの設計及び開発を担当しているか	J	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合	

3	2	61	学習教材は、学習内容の実際の有用性を考慮した実践的かつ最新のものであり、社会的ニーズ、文化的ニーズ及び学習者の背景を考慮して選択されているか	J	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
3	2	62	少なくとも年1回、カリキュラム、学習教材及びアセスメント教材の見直しを行っているか	J	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
3	2	63	学内で使用又は開発した学習リソース(資源)の出典及び著作権について、適正に処理できているか	J	4	③	2	1	3.2	3.0	3.6 3.6 1.2	3	教員 エビデンス	著作権について意識して授業等を実施した。	
3	2	64	教員・講師及び学習者に対して、印刷教材・電子教材の複写及び利用に関する規則について情報提供しているか	J	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		コメント
3	2	81	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	④	3	2	1	3.6	3.1 4.0	3.1 1.2	4	教員 エビデンス	TCEP、特別授業に関わるよう努めた	適合
3	2	82	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合 コメント
3	2	83	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	B	④	3	2	1	3.48	2.7 4.0	2.7 1.2	4	教員 エビデンス	授業で企業・団体等と連携した	適合
3	2	84	企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
3	3	中項目	成績評価・単位認定等(成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか)												
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		コメント
3	3	2	学生や保証人(保護者)に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
3	3	4	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
3	3	6	アセスメントの結果は、公平性、透明性及び守秘義務の原則に鑑みて、確立された権限又は正当な承諾を得た者のみ閲覧可能とされているか(閲覧制限)	J	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合 適合
3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制(資格・免許取得のための指導体制があるか)												
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか(発行する修了証明書の種類及び内容)	A	④	3	2	1	3.7	3.3 4.0	3.3 1.2	4	教員 エビデンス	・資格の取得に積極的に取り組んだか	コメント
3	5	中項目	キャリア教育等(基礎的・汎用的能力(① 人間関係形成・社会形成能力、② 自己理解・自己管理能力、③ 課題対応能力、④ キャリアプランニング能力)を身につけるための取組が実施されているか)												
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	B	④	3	2	1	3.5	2.7 4.0	2.7 1.2	4	教員 エビデンス	・東美キャリア教育プログラムの時間を有効に活用したか	適合
3	5	21	高校・高等専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	A	④	3	2	1	3.6	3.0 4.0	3.0 1.2	4	教員 エビデンス	・職業講話、分野別ガイダンス等に積極的に参加している	適合 適合
3	5	42	学習参加の前提としているスキルや要件などに不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか	J	④	3	2	1	3.8	3.6 4.0	3.6 1.2	4	教員 エビデンス	・授業の前提となる学力を把握するよう努めているか	コメント 適合

③	努力点と課題	努力点 教育理念に基づいてカリキュラムを編成・実施し、教職員や学生に周知している。シラバスや評価体制を整備し、実技と講義の連携、産学連携による実習も行っている。TCEPを活用した授業や、授業計画の見直し、広報活動にも取り組んでいる。 課題 コマシラバスの作成と活用が不十分で、授業内容の明確化に課題がある。授業の間隔が空くことで技術の定着が難しくなっている。学生の検定への意欲に差があり、授業時間数の不足も課題である。著作権への理解や、アセスメント結果の活用も今後の課題である。
③	関係者評価委員の意見	教育活動の質問事項は、概ね良いと思われる。 シラバス、コマシラバスについては、慣れてくると毎年同じということがある。教員同士がお互いに見合うことが大切であると感ずる。

4 学修成果・教育成果			カテゴリ	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・2、不適切・1					自己評価		エビデンス				令和6年度 第三者評価	令和5年度 第三者評価	
4	1	中項目	学修成果(各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか)														
4	1	1	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス	適合	適合			
4	1	2	B	4	③	2	1	3.0	3.0		3	エビデンス	コメント	コメント			
4	1	3	J	④	3	2	1	3.7	3.2 4.0	3.2 1.2	教員 4	・授業を開始するにあたり、必要な学力(技術)を把握するよう努めているか	適合	適合			
4	1	4	J	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス	適合	適合			
4	2	中項目	就職率(就職率の向上が図られているか)														
4	2	1	A	④	3	2	1	3.6	3.0 4.0	3.0 1.2	関係者 4	・就職情報を担当と共有しようとしたか		適合			
4	2	2	A	④	3	2	1	3.4	2.6 4.0	2.6 1.2	関係者 4	・共有フォルダーの就職情報を活用しているか		適合			
4	2	3	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合			
4	2	4	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合			
4	3	中項目	資格・免許の取得率(資格・免許取得率の向上が図られているか)														
4	3	1	A	④	3	2	1	3.7	3.3 4.0	3.3 1.2	教員 4	・資格・検定の取得率を上げるために指導の工夫をしているか	適合	適合			
4	3	2	A	④	3	2	1	3.7	3.3 4.0	3.3 1.2	教員 4	・資格・検定の取得率の目標を設定したか		適合			
4	3	3	B	④	3	2	1	3.7	3.2 4.0	3.2 1.2	全員 4	・共有フォルダーの資格取得率を参考にしているか		適合			
4	3	4	B	④	3	2	1	3.6	2.9 4.0	2.9 1.2	教員 4	・資格・検定の結果に対して検証と報告がされたか		適合			
4	3	5	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合			
4	4	中項目	社会的評価(卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか)														
4	4	1	A	④	3	2	1	3.4	2.5 4.0	2.5 1.2	教員 4	・卒業生の動向を知るために情報収集しようとしたか	適合	適合			

④	努力点と課題	努力点 学修成果のアセスメントは入学時・修了時ともに実施しており、修了証明書の発行にも対応している。就職率や資格取得率の向上に向けた取り組みを進め、結果は教職員間で共有している。SNSなどを通じて卒業生とのつながりを保ち、動向の把握や支援にも努めている。検定やコンペの結果についても検証・公表を行っている。 課題 人材像に沿った評価項目とアセスメント基準の明確化が必要。検定に関心を示さない学生への指導方法にも工夫が求められる。教職員間で情報共有ツールの認知や活用にはばつきがあり、改善の余地がある。卒業生との継続的な関係構築や、資格指導に関する教員のスキル向上も課題として挙げられる。
④	関係者評価委員の意見	学修成果の項目では、教科の研究等が必要であると感ずた。 教師と学生の相互の合意形成が必要であり、教科のオリエンテーションを必ず実施していくことが重要であると思われ

5 学生支援			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1				自己 評価		エビデンス			令和6年度 第三者評価	令和5年度 第三者評価	
5	1	中 項 目	修学支援(学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか)												
5	1	1	学生への修学支援を適切に行っているか	A	④	3	2	1	3.5	2.6 4.0	2.6 1.2	関係者 4	学生に関する履歴を残そうとしたか エビデンス		適合
5	2	中 項 目	就職等進路指導(就職・進路指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか)												
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されている か(またそれはきちんと学生や保証人(保護者) に周知されているか)	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス	適合	適合
5	3	中 項 目	学生相談(学生相談に関する体制は整備されているか)												
	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか (相談窓口が設置されているか)	A	④	3	2	1	3.5	3.2 4.0	3.0 3.2 3.1 3.3	関係者 関係者 関係者 関係者	・問題行動防止のため、日頃から指導できたか ・学生を理解しようとしたか。 ・一人一人の学生を生かした学級経営を工夫できたか ・学生相談に関する体制を活用したか	コメント	
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	B	④	3	2	1	3.4	2.4 4.0	2.4 1.2	関係者 4	面談の記録を残したか エビデンス		適合
5	4	中 項 目	学生生活(学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか)												
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支 援体制は整備されているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス	コメント	適合
5	4	21	学生の健康管理を担う組織体制はあるか(学生 の健康診断を実施しているか、また健康相談窓 口は整備されているか)	A	④	3	2	1	3.2	2.0 4.0	2.0 1.2	教員 4	・健康診断の結果を学生に指導したか エビデンス		適合
5	4	41	課外活動に対する支援体制は整備されているか	A	④	3	2	1	3.6	2.9 4.0	2.9 1.2	関係者 4	課外活動をボランティア活動の一面を持つことを学生に伝えているか エビデンス	適合	適合
5	4	42	学生の生活環境への支援は行われているか(学 生のアパート探しなど、住環境への支援体制は あるか)	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス	ストロング ポイント	ストロング ポイント
5	4	45	学習に関する要望、学習に関する要望を取り巻 く状況及び通学の障害となる要因(距離や費用 等)を理解し、解決に向けた提案を行っているか	J	④	3	2	1	3.6	3.1 4.0	3.1 1.2	教員 4	・学生の学習に関する要望・意見を聞こうとしたか エビデンス	適合	適合
5	5	中 項 目	中途退学への対応(退学率の低減が図られているか)												
5	5	1	退学率の低減が図られているか(受講登録、出 欠状況及び学習者の減少に関する分析が行わ れているか)	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス	適合	適合
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	A	④	3	2	1	3.7	3.2 4.0	3.2 1.2	関係者 4	・退学防止のための指導を工夫したか エビデンス		適合
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共 有されているか	B	④	3	2	1	3.7	3.2 4.0	3.2 1.2	関係者 4	・退学率の低減に向けて、スクールカウンセラー活用や学生指導を心がけたか エビデンス		適合
5	5	4	退学者数を公表しているか	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
5	6	中 項 目	保証人(保護者)との連携(保証人との連携体制を構築しているか)												
5	6	1	保証人(保護者)と適切に連携しているか(保証 人のニーズを把握しているか)	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス	コメント	適合
5	6	2	保証人(保護者)との計画的な相談会・面談を 行っているか	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
5	7	中 項 目	卒業生・社会人支援(卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか)												
	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか(再就 職、キャリアアップ等)について、相談に乗って いるか)	B	④	3	2	1	3.1	2.4 4.0	2.4 0.8	関係者 4	・卒業生の就職状況の聞き取りや再就職の相談等を積極的にしているか エビデンス		適合
5	7	21	卒業生への卒業後教育等の支援体制はあるか(卒 業生への講習・研修を行っているか)	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合

7 学生の受入れ募集				カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				自己評価			エビデンス	令和6年度 第三者評価	令和5年度 第三者評価	
7	1	中項目	学生募集活動(学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選考を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか)												
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
7	1	2	入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)を策定し、学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表しているか	A	④	3	2	1	3.7	3.2	3.2	全員	アドミッションポリシーを理解している		適合
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	A	④	3	2	1	3.7	3.3	3.3	全員	3ポリシーについて理解している		適合
7	1	4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	A	④	3	2	1	3.6	4.0	1.2	4	エビデンス		適合
7	1	6	学校運営責任者の情報や、教員・講師の適格性・経験などの情報を提供しているか	J	④	3	2	1	4.0	2.9	2.9	全員	・学生募集活動は、適正に行われているか		適合
7	1	21	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか	A	④	3	2	1	3.6	3.0	3.0	全員	・入学に関する問い合わせを、速やかに正確に処理しているか		適合
7	1	22	学校説明会等による情報提供(育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報)を行っているか	A	④	3	2	1	3.7	4.0	1.2	4	エビデンス		適合
7	1	23	入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
7	1	25	学習者の満足度に関するフィードバックを入手する手順、並びに彼らの要求、提案及び苦情に対応する手順など、学校生活での支援体制について入学前に伝えているか	J	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
7	1	26	教授資格、教歴及び背景など、授業や実習を担当する教員・講師のプロフィールについて、オープンキャンパスなどで紹介しているか	J	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
7	1	27	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	J	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
7	1	41	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、オリエンテーションなどで学校側の義務と責任を学生と保証人(保護者)に案内しているか	C/J	4	③	2	1	3.0	3.0		3	エビデンス		適合
7	2	中項目	入学選考(入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか)												
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているか(入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか)	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選考を行っているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
7	2	5	履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか	J	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
7	3	中項目	学納金(学納金は妥当なものとなっているか)												
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		コメント
7	3	6	学習者又はスポンサーから要請があった場合には、支払の証明を提供しているか	J	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合

⑦	努力点と課題	努力点 学生募集活動はアドミッション・ポリシーに基づき、公正かつ適正に実施している。学校案内や説明会では、育成人材像や目指す資格、学費等について明確に情報提供している。入学前の支援体制や相談対応も整っており、問い合わせ対応や情報開示も丁寧に行っている。教員のプロフィールもオープンキャンパスなどで紹介し、信頼性向上に努めている。 課題 広報資料やポリシーへの理解が不十分な教職員もおり、体験入学時の説明を通じて意識的に学んでいる段階である。学生募集に積極的に関わる姿勢は見られるものの、高校訪問等の直接的な関係構築は十分に行えていない。今後は広報資料の精読やポリシーの理解を深め、学校の魅力を正しく伝えられるようにしたい。
⑦	関係者評価委員の意見	教材費等の値上げ等で保証人にご迷惑かけないよう、年間を通じての消耗費や教材費を十分に理解していただくようにする。

8 教育の内部質保証システム				カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1				自己 評価				エビデンス		令和6年度 第三者評価	令和5年度 第三者評価
8	1	中 項 目	関係法令、設置基準等の遵守(法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか)													
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営 がなされているか	A	④	3	2	1	3.8	3.6 4.0	3.6 1.2	全員	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がされているか		適合	適合
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体 制が整備されているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合	適合
8	1	3	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程 を整備し適切に運用しているか	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス			適合
8	2	中 項 目	個人情報保護(個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか)													
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を 実施しているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス			適合
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス			適合
8	2	3	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知 し、意識づけができていないか	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス			適合
8	3	中 項 目	4													
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価 を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス			適合
8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめているか (自己点検・評価報告書があるか)	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス			適合
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス			適合
8	3	8	評価の範囲、目標、根拠、基準、方法及びスケ ジュールを含む、モニタリング及び評価の手段な どを考慮し、モニタリング及び評価のプロセスを 設計しているか	J	4	③	2	1	3.0	3.0		3	エビデンス			オブザー ベーション
8	3	9	適切な評価体制を有し、学校評価(学習サービ スの評価)が実施されているか(適格者によるモ ニタリング及び評価を実施できているか)	J	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス			適合
8	3	21	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係 者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス			適合
8	4	中 項 目	改革・改善(各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか)													
8	4	1	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機 会を設けたか	A	④	3	2	1	3.7	3.3 4.0	3.3 1.2	全員	・自己点検・評価の必要性について理解している			適合
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の 教育活動の改善に活用されているか	A	4	③	2	1	3.0	3.0		3	エビデンス			適合
8	4	3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定 したか	B	④	3	2	1	3.6	3.1 4.0	3.1 1.2	全員	前年度の自分の仕事を見直し、改善しようとしたか		適合	適合
8	4	4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改 善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	③	2	1	3.0	3.0		3	エビデンス			適合
8	4	5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策 定したか	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス			適合
8	4	6	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて 改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	③	2	1	3.0	3.0		3	エビデンス			適合
8	4	21	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの 継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するた めにマネジメントレビューを実施しているか(モニ タリング及び評価の結果を考慮して、学習サー ビスの改善・変更を実施しているか)	J	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス			適合
8	4	41	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・ 要請等への対応など、不適合を特定し、対処す る手順(予防処置及び是正処置)を確立している か	J	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス			コメント
8	4	42	学生及び保護者等が不満を抱いている場合や、 学校側と意見の相違がある場合の相談受付方 法を案内しているか	J	4	③	2	1	3.0	3.0		3	エビデンス			コメント
8	4	43	業界や地域社会等からの意見の収集・分析・応 答の仕組ができていないか(苦情及び要請への対 応を含む)	J	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス			適合
8	5	中 項 目	教育情報の公開(教育活動に関する情報公開を積極的にしているか)													

8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス	コメント	コメント
8	5	21	自己評価結果を公開しているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合
8	5	22	学校関係者評価結果を公表しているか	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合

⑧	努力点と課題	努力点 法令や設置基準を遵守し、適正な運営体制を維持している。コンプライアンスや個人情報保護に関する規程も整備され、教職員への周知も徹底している。自己点検・評価は毎年実施され、組織的な体制のもと報告書にまとめ、改善計画に活用している。また、学校関係者評価も導入し、結果に基づいた改善と情報公開を進めている。マネジメントレビューや関係者からの意見収集・応答の体制も確立されている。 課題 モニタリングおよび評価の設計において、プロセスの明確化や実行スケジュールの管理には改善の余地がある。また、卒業後のキャリア形成に関する評価・活用は不十分であり、進路データをもとにした教育改善が求められる。さらに、保証人や学生との相談体制の案内が不十分であり、より明確な情報提供が必要である。業務量の増加により、日常的な業務に余裕がない中で質を維持する工夫も求められている。
⑧	関係者評価委員の意見	教育の内部監査システムについては、研修を受け行っている様子が見られて素晴らしい。今後もより良い教育サービスを提供できるようにしてほしい。

9 財務													エビデンス	令和6年度 第三者評価	令和5年度 第三者評価
9	1	中項目	財務基盤(学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか)												
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス	適合	適合
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されているか	A	④	3	2	1	3.6	3.0 4.0	3.0 1.2	担当者 4	予算書、中期計画書が策定されているか エビデンス	適合	適合
9	2	中項目	予算・収支計画(予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか)												
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0 4.0	4.0 1.2	担当者 4	予算書、中期計画は、理事会に提出している。 エビデンス		適合
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	B	④	3	2	1	3.6	3.0 4.0	3.0 1.2	担当者 4	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っている。 エビデンス		適合
9	3	中項目	監査(財務について会計監査が適正におこなわれているか)												
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス	適合	適合
9	4	中項目	財務情報の公開(私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか)												
9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	A	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス	適合	適合
9	4	2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取組んでいるか	B	④	3	2	1	4.0	4.0		4	エビデンス		適合

⑨	努力点と課題	努力点 教育活動を安定的に実施するために必要な財政的基盤は確立されている。年度予算や中期計画は妥当性をもって策定され、適切な執行管理が行われている。また、私立学校法および寄付行為に基づく監査も適正に実施され、理事会・評議員会への報告も行っている。財務情報は体制を整えて公開しており、ホームページを通じた積極的な情報開示も実施している。 課題 特段の課題は見られないが、今後も継続して透明性の高い財務運営と、持続可能な財政基盤の強化を図る必要がある。
⑨	関係者評価委員の意見	財務については、事務長や会計事務所がしっかりとしていると思われる。今後の学園発展のためには、学生募集で定員まあで達するように頑張してほしい。

10 社会貢献・地域貢献													エビデンス	令和6年度 第三者評価	令和5年度 第三者評価
10	1	中項目	社会貢献・地域貢献(学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか)												
10	1	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A	④	3	2	1	3.6	3.3 4.0	3.3 0.8	教員 4	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか エビデンス	適合	適合
10	1	2	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	A	④	3	2	1	3.6	3.4 4.0	3.4 0.8	教員 4	・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか エビデンス	適合	適合
10	2	中項目	ボランティア活動(学生のボランティア活動を奨励・支援しているか)												
10	2	1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A	4	③	2	1	3.9	3.8 4.0	3.8 0.8	教員 3	・学生のボランティア活動を奨励・支援しているか エビデンス		適合

⑩ 努力点と課題	努力点 学校の教育資源や施設を活用し、地域の行事や三島市のイベントなどに積極的に参加している。学生のボランティア活動も奨励され、社会貢献としての意識づけが図られている。公開講座や職業訓練の受託にも前向きに取り組み、地域との連携を深めている。 課題 地域貢献の取組は概ね良好であるが、施設のさらなる有効活用や、地域の子ども向けイベントの開催など、新たな展開の可能性はある。学生の社会性を育むためにも、地域参加の機会を今後さらに広げていく必要がある。
⑩ 関係者評価委員の意見	社会貢献については、説明を聞くと十分に参加していると感じる。ボランティア参加で、その消材で支出が多い。参加行事も、精選していく必要がある。

※ 第三者評価は、令和5年度は、初回審査なので全項目。令和6年度は、更新審査なので、指示された範囲項目になります。